様式２

番号 ＼ 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	11・学図	第１学年 第２学年 第３学年	英語　729 英語　829 英語　929	TOTAL　ENGLISH　1 TOTAL　ENGLISH　2 TOTAL　ENGLISH　3
取扱内容 （学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）	○　聞くこと 第１学年では、ALT の１日の生活の様子を聞いたり、友達の自己紹介を聞き取ったりする活動、第２学年では、機内放送を機内での会話を聞いたり、世界の各都市の天気予報を聞き取ったりする活動、第３学年では、週末の出来事についてのスピーチを聞いたり、電話での会話を聞き取ったりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　話すこと 第１学年では、自己紹介したり、写真や実物を見せながら大切なものを紹介したりする活動、第２学年では、道案内をしたり、なりたい職業などの将来の夢について発表したりする活動、第３学年では、外国人の先生にインタビューしたり、尊敬する人についてまとめた文を発表したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　読むこと 第1学年では、 ALTにあてた手紙文を読んだり、自分の大切なものについてのスピーチ文の内容を読み取ったりする活動、兄弟を紹介する文を読んだり、友達からのメール文の内容を読み取ったりする活動、第3学年～では、部活動のレポートを読んだり、ブータンについてのレポートの内容を読み取ったりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　書くこと 第1学年では、友達を紹介する文を書いたり、写真を説明する文章を作成したりする活動、第2学年では、将来の夢についてのスピーチ原稿を書いたり、自分の宝物についてのスピーチ原稿を作成したりする活動、第3学年では、日本の伝統文化についての説明文を作成したり、インタビューした結果をまとめたりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　知識・技能の習得、活用、探求への対応について 「Project」において、第1学年では、既習のいろいろな表現を使い友達の前でスピーチをすること、第2学年では、自分の宝物についての原稿を書き、友達の前でスピーチをすること、第3学年では、尊敬する人を紹介する文を書き発表することや、自分の人生を過去から現在、未来までまとめて書くことなどの発展的な学習が取り上げられている。			
内容の構成・排列、分量等	○　内容の構成・排列 第１学年では、複数の人や物について表現したり、数について尋ねたりする活動の後に、今していることを伝えたり、過去の出来事について説明したりする活動を取り扱い、第２学年では、過去の状態や気持ちを伝えたり、自分の意志や予定を表したりした後に、理由について質問し合ったり、２つ以上の人や物を比べたりする活動を取り扱い、第３学年では、第１、２学年において学習した身近なテーマについて調査する方法について聞いたり、経験したことを伝えたりした後に、人や物の状態を表現したり、人や物について詳しく説明したりする活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。 ○　内容の分量 第１学年～対話文は 38 ページ、説明文は 13 ページ、物語・劇は 4 ページ、手紙は 2 ページ、詩は 0 ページ、日記は 0 ページ、総ページ数は 164 ページで、前回より約 9%増となっている。 第２学年～対話文は 22 ページ、説明文は 23 ページ、物語・劇は 8 ページ、手紙は 2 ページ、詩は 0 ページ、日記は 4 ページ、総ページ数は 170 ページで、前回より約 10%増となっている。 第３学年～対話文は 18 ページ、説明文は 33 ページ、物語・劇は 6 ページ、手紙は 2 ページ、詩は 0 ページ、日記は 5 ページ、総ページ数は 170 ページで、前回より約 10%増となっている。			
使用上の配慮等	○　英語の歌を取り上げる（全学年）とともに、「Action!」では、言語活動を通して習得する内容を取り上げたり（全学年）、各「Chapter」に「Lesson」や各コーナーのトピック、言語材料、目標を明示して、ＣＡＮ－ＤＯリストに対応した評価ができるようにしたり（全学年）するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○「Lesson」の文法事項をまとめとして示し、体系的に復習することができる「Check It Out」や（全学年）、学年全体の基本文をまとめとして示し、言語材料の振り返りを促すことができる「目標文のまとめ」を設ける（全学年）など、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　巻末に、「単語リスト」や「目標文のまとめ」（全学年）、「ローマ字」（第１学年）、「不規則動詞の変化表」（第2、3学年）などを掲載したり、言語活動の幅を広げるための参考資料として示した「More Words」を掲載したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られている。			
その他	○　北海道と関連のある教材は、第２学年 Project など２箇所について取り上げられている。 ○　第１学年の最初では、小学校外国語活動で慣れ親しんだ活動を設けるなど、生徒の不安を感じさせないよう、小中の接続を意識したつくりになっている。 ○　４技能の全ての育成に向けて、語彙力が求められていることから、随所に WordTree を設けるなど工夫がなされている。			